

**琉球大学医学部および  
同附属病院  
移転整備基本構想  
[概要]**

琉球大学  
平成28年3月



# 琉球大学医学部および同附属病院移転整備基本構想

## 「基本構想」の構成

- I. 琉球大学医学部および同附属病院の位置づけ
- II. 医学部および同附属病院の構想
  1. 琉球大学の現況
  2. 移転構想  
(～国際化、人材育成、先端研究・産業振興、医療水準の向上～)
  3. 施設整備構想
  4. 整備スケジュール

## I. 琉球大学医学部および同附属病院の位置づけ

### ○国際医療拠点構想における位置づけ

- ・西普天間住宅地区の跡地利用については、「経済財政運営と改革の基本方針 2015」(平成 27 年 6 月 30 日閣議決定)において、琉球大学医学部および同附属病院の移設など高度な医療機能の導入をはじめとする「国際医療拠点構想」の推進を図ることが明確に位置づけられています。また、平成 27 年 7 月には、宜野湾市から同地区の跡地利用計画を定め、国際医療拠点構想を前提とした同地区の土地利用に関する方向性が示されています。

### ○沖縄県における医学部および同附属病院の位置づけ

- ・医学部は、沖縄県下唯一の医師育成機関として、医師を輩出するとともに、看護師・臨床検査技師と、沖縄県の各医療機関の臨床現場の第一線で活躍する人材を育成しており、研究分野においても、県特有の資源を活用する研究や健康食品の開発、疫学研究、島嶼部における保健指導・教育といった沖縄県の地域産業振興や地域を根幹から支える役割を担っています。
- ・附属病院においては、県内唯一の特定機能病院として、①各種疾患における専門的な医療の提供および高度医療の提供、②県立病院、研修病院、医師会等との連携による離島・北部の地域医療体制構築、③医療研究、学生および研修医教育を通じた沖縄県の将来の医療体制の構築に寄与することが求められています。

### ○沖縄振興特別措置法(～第5章 文化の振興等～)における位置づけ

(科学技術の振興等)

- 第八十五条 国及び地方公共団体は、沖縄における科学技術の振興を図るため、沖縄における研究開発の推進及びその成果の普及並びに科学技術に関する関係者間の交流の促進その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。
- 2 国及び地方公共団体は、沖縄における研究機関及び研究開発を行う事業者の集積並びに科学技術に関する国際的な拠点の形成を図るため、国立大学法人琉球大学の設置する琉球大学、沖縄科学技術大学院大学学術法(平成二十一年法律第七十六号)第二条に規定する沖縄科学技術大学院大学その他の研究機関と事業者その他の関係者との間の連携の促進その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

- ・今後、本構想を具体化し、着実に実行していくことで、沖縄県における中核的教育・研究・診療機関として、切磋琢磨しながら、医学と保健学に関する優れた業績を積み重ねていきます。



## II. 医学部および同附属病院の構想

### 移転構想

#### 国際化

～未来を拓く国際性豊かな医療拠点～

**国際水準の教育と医療の実現、  
また研究体制の構築に向け、国際医療拠点に  
相応しい機能と設備の整備を進めます。**

- ◆医学部と附属病院の国際認証の取得
- ◆国内外の大学、医療機関、企業等との積極的な連携
- ◆国際医療拠点に相応しい病院環境の整備
- ◆保育園、授乳室、障がい者対応施設等のダイバーシティ（多様性）に対応したアメニティの充実

#### 医療水準の向上

～高度医療の提供による拠点形成～

**中核病院としてがんや救急医療、また  
移植医療等への対応強化を図るとともに、災害対応や  
遠隔診療等の更なる充実により医療水準の向上を目指します。**

- ◆化学療法や放射線治療分野の充実によるがん治療成績の向上
- ◆高度救命救急センターの設置
- ◆生体肝移植等の移植医療の充実
- ◆先進的医療に対応した手術室の充実
- ◆日帰り手術、光学診療等の充実による低侵襲治療の推進
- ◆沖縄県地域医療支援センターを拠点とした離島・へき地医療の充実

#### 人材育成

～国際的な医療人材の育成と交流拠点の形成～

**ニーズに柔軟に対応でき、また国際的に通用する  
教育システムの構築を進めるとともに、  
国内外大学等との連携体制の強化を図ります。**

- ◆グローバルな視野を持った医療者、医学研究者の育成
- ◆研究マインドを身につけさせるための学部段階からの研究室配属
- ◆看護部と保健学科の連携による高度実践看護師の育成
- ◆海外大学と連携したクリニカルクラークシップ（臨床参加型実習）の充実
- ◆附属病院内における教育スペースの確保

#### 先端研究・産業振興

～世界に誇れる医学研究拠点の形成と産業振興～

**沖縄特有の環境や資源を活かしつつ、最先端分野の  
研究の充実を図るとともに、人材が集まる組織の枠を  
超えた研究組織の構築を目指します。**

- ◆先端医学研究センターを中心とした創薬等の最先端分野の研究
- ◆医工連携による医療機器等の開発
- ◆国、企業、近隣大学、研究機関から優秀な人材が集まる仕組みの構築
- ◆産業振興による地域の活性化
- ◆国内・国際学会開催による来訪者の増加



# 施設整備構想

## 施設構想における全体方針

- ・ 効率的な施設構想を基本とし、且つ、将来の拡張や再開発スペースを確保
- ・ 将来の教育研究環境や医療環境に柔軟に対応できる施設として整備

## 各視点の方針

### ◎国際化の視点

- ・ 周辺環境と調和を図りながら沖縄のランドマークとなりえるデザイン
- ・ 学内・院内サインの多言語化対応等、誰もが利用できる施設整備

### ◎教育の視点

- ・ 医保連携を深めるため、医学科と保健学科を同一建物内に整備
- ・ 研究棟の各フロアに学生の控室を配置

### ◎研究の視点

- ・ 講座間のコミュニケーションがとりやすい平面構成
- ・ 全講座共用のバッファースペースの確保、スペースチャージの導入

### ◎医療の視点

- ・ 個室病床、手術室、集中治療室の拡充
- ・ 間仕切りの変更に对应しやすいフレキシビリティの高い施設整備
- ・ 緊急時にも迅速対応できる環境として、附属病院と研究室間の動線を考慮

### ◎災害対策の視点

- ・ 電力供給ラインの二重化
- ・ 基幹災害医療センターの指定取得

### ◎環境保全・エコロジーの視点

- ・ Life Cycle Cost を考慮した施設整備
- ・ 沖縄の気象条件を考慮
- ・ 光熱水量計量区分の細分化



# 移転候補地

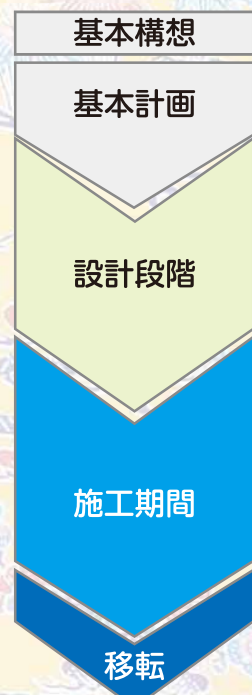


- ・移転計画地は、平成27年(2015年)3月に在日米軍より返還されているキャンプ瑞慶覧の一部である「西普天間住宅地区」内の国際医療拠点ゾーンと位置づけられた部分です。
- ・現在の琉球大学上原キャンパスから、北方向へ約5.5kmの地点に位置しています。

- ・整備を予定しているエリアは基本的に海に向かって下っていく緩い斜面(北西向斜面)であり、西側は、全体的に傾斜地、東側の一部は渓谷状の崖地(イシジャー)および住宅地で構成された地区で、県道81号線に接する東南部分は比較的平坦です。
- ・谷あい部を除くほぼ全域が北西部の海岸線側に開けた、オーシャンビューが可能なエリアであり、大学キャンパスとしては良好な適地となっています。

# 今後のスケジュール(予定)

年度	事項
平成28年度	基本計画着手・完成 土地測量および地質調査 基本設計事業者選定 支障除去(国による。平成29年度まで続く)
平成29年度	基本設計着手・完了 支障除去(国による。)
平成30年度	実施設計着手 土地区画整理事業工事着手(道路・インフラ整備・造成工事等) 物品の移設計画策定に着手
平成31年度 ～ 平成35年度	建築計画通知(確認申請) 施工者選定 建設工事
平成35年度 ～ 平成36年度	建設工事 医学部・附属病院移転準備
平成36年度末	医学部・附属病院移転



※本スケジュールはあくまで基本構想段階での予定となります。